

ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

桜が終わり、新緑、つつじが美しい季節になりました。皆様お元気でいらっしゃいますか。PHJ メールニュース 2012 年 4 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員 (オブザーバーとして出席されている方を含む) の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 2012 年 4 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. ホープニュース 60 号・PHJ News 60 を発行しました
- 1-2. タイ子宮頸がん・乳がん検診推進事業報告会を開催しました
- 1-3. 第 45 回運営委員会に沢山の方がオブザーバーとして出席されました
- 1-4. 「東日本大震災」復興支援
- 1-5. スタッフブログ
- 1-6. 休業のお知らせ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 小児先天性心臓病手術
- 2-2. HOPE パートナー事業

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 母子健康改善活動 ーバンタン州セララン県テイルタヤサ自治区
- 3-2. 地域医療システム強化 ーテイルタヤサ自治区
- 3-3. 栄養改善活動 ーテイルタヤサ自治区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 健康な村づくり事業 ーコンポントム州
- 4-2. 村に救急トックトックがやってきた
- 4-3. 助産師トレーニング事業 ープレイベン州

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1・ホープニュース 60 号・PHJ News 60 を発行しました

PHJ 理事による巻頭言、カンボジアで健康な村づくりの一員となるコミュニティー・ケア・ワーカーの選挙方法、インドネシアでの栄養改善活動・竜巻の被害、タイの HIV/AIDS 予防教育の報告、東日本

大震災復興支援の状況や、HOPE パートナー会員の里子訪問などを掲載したホームページと英文誌を4月1日に発行いたしました。

1-2. タイ子宮頸がん・乳がん推進事業報告会を開催しました

4月18日 PHJ タイ事務所所長による報告会には10名以上の方が出席して下さいました。タイでの子宮頸がん・乳がん検診推進事業のほかにベトナムでの乳がん早期発見事業についても2011年の活動の内容と成果を紹介しました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52079780.html

1-3. 第45回運営委員会に沢山の方がオブザーバーで出席されました

4月19日 第45回運営委員会をJICA 地球ひろばの会議室で開催いたしました。東日本大震災の復興支援、タイ・ベトナム、カンボジア、インドネシア各事務所の所長が活動の報告を行いました。10名以上の個人、法人会員の代表がオブザーバーとして出席され、熱心に報告を聞いて下さいました。

1-4. 「東日本大震災」復興支援

PHJでは災害当初から全日本病院協会(全日病)と提携して、被災地域の民間医療施設の支援を行っております。復興支援の対象地域は気仙沼市、石巻市が中心です。地域の医師会のご協力を得て、被災した医療施設の要望に応える支援をおこなっており、2011年12月に第1次支援として医療機器・什器の寄贈が終わり、第2次支援は4月18日に実施されました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/

1-5. スタッフブログ

タイ、カンボジア、インドネシアの様子をスタッフがお知らせしています

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

1-6. 休業のお知らせ

PHJ 東京事務所は4月28日(土)から5月6日(日)まで休業いたします。その間お問い合わせなどに対応できませんのでご了承ください。

.....

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. 小児先天性心臓病手術

3月には3名の子供が手術を受けました。3月17日には支援して下さいしている団体がチェンマイ大病院を訪問し、子供向けの本やおもちゃを寄贈して下さいました。4月にも3名の手術を予定しています。バンコクでの看護師の教育も4月に予定しています。

2-2. HOPE パートナー教育事業

1998年以来累計で217名の患者を支援し、134名が卒業しました。現在60名のドナーが60名の子供を支援しています。4つの病院での定例活動のテーマは「血圧」。合計60家族が参加する

予定です。引っ越したために RICD で治療を受けられないでいる患者の自宅を RICD の理学療法士が 4月25日に訪問し、今後の治療方針を策定する予定です。

HOPE パートナー会員からのお手紙をブログで紹介しています

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 保健・母子健康改善活動 —テイルタヤサ自治区

3月の保健教育のテーマは「妊娠期と産後に気を付けること」で妊娠初期の食べ物、定期検診受診、適度な運動に重点を置いた啓発教育を実施しました。参加者は妊婦141人を含み337人でした。

3-2. 地域医療システム強化 —テイルタヤサ自治区

トウンクラック村で建設されていた第5号のポスケステス（診療所）は3月中に完成し、31日に助産師が着任し、活動を開始しました。5月に支援企業の代表を迎えて正式にオープンする予定です。

3-3. 栄養改善活動 —テイルタヤサ自治区

2010年4月から味の素 AIN 助成金を受けて実施していた栄養改善活動は3月で終了しました。

12月に実施したメニューコンテストのメニューをもとに4村で栄養教育・調理実習を実施。子供を含め186人が参加しました。3月27日に6回目のコンテストを実施、テーマは栄養菜園食材使用で変化にとんだメニューが考案され、得点差も小さく、甲乙つけがたい接戦でした。

菜園事業も順調で、次の野菜の苗床づくりもはじまり、庭先で菜園を栽培する家庭も増えています。スタッフブログで菜園事業の報告をご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52073260.html

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 健康な村づくり事業 —コンポントム州

保健センター運営改善：4つの保健センターでスタッフ会議が開催されました。チームワークとマネージメント力をチェックリストで検査したところ、時間の管理、プライバシーの保護などで問題のあることがわかり、各センターで改善を行い、保健センターのサービス向上を目指します。

村人が衛生的な生活を実践：1月にトイレ建設資材の支援を行った4村60世帯を3月12日に検査したところ85%で建設は終了していました。遅れの理由は建設業者の作業待ち、自己資材分の購入遅れだと判明しました。またトイレ使用を始めた世帯の90%ではきれいにトイレを使っています。衛生モデル村への3月の衛生促進キャンペーンのテーマは「飲み水の衛生」。4村で各1回教育が行われ、参加者は61名、参加率34%でした。確認テストでは研修前が56%、研修後は92%まで改善しました。

保健教育活動：村での保健教育は11回実施。予防接種、家族計画、下痢がトピックで444名が参加しました。前後での確認テストでは39点から80点に向上しました。

村と行政サポートのネットワーク支援：先月までコミュニティー・ケア・ワーカーと呼んでいた妊婦検診・産後検診推進スタッフをカンボジア政府の正式名称にあわせ母子保健ボランティアと呼ぶことにしました。母子保健ボランティアのフォローアップとして地道な活動をしなければならないことが明確化しました。今月直接指導できたのは30名中25名でした。残りの5名は次回にフォローします。母子保健ボランティアも保健センター運営委員、保健ボランティア会議に参加することにしました。

4-2. 村に救急トゥクトゥクがやってきた

搬送サービス：3月28日搬送サービスポリシーと寄贈契約書に署名を行い搬送カート2台の贈与式が開催され、妊産婦の搬送サービスが開始されました。その様子を動画をご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=XAxOEeKpe0&feature=youtu.be>

4-3. 助産師トレーニング事業 –ブレイベン

3月には2人の訓練生が地域の管轄病院でトレーニングを受けました。夫々妊婦検診 38, 37件、出産介助10件を実習できました。知識テストも一人は研修前44%が96%へ向上し、2人目は72%が100%へと向上して有意義な結果となりました。前回研修をうけた2人の助産師からのレポートを受け、改善が必要な点について指導も行いました。

■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2012年4月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。メールニュースのバックナンバーはPHJ ホームページでご覧になれます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

#####

発行者：

アジアの母と子を支える

ピープルズ・ホープ・ジャパン

国際保健医療支援団体 認定NPO法人第1号

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: http://www.ph-japan.org

Copyright: 2012ピープルズ・ホープ・ジャパン

#####